

平成 20 年 12 月 22 日

北アルプス広域連合  
連合長 牛越 徹 殿

白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会  
会長 宮田 温巳  
399-9301 白馬村北城 11020

## 住民アンケートに関する意見と公開質問 —前提条件が満たされないアンケートは中止すべきです—

### 1. 住民アンケートに対する私どもの基本姿勢

私どもは、12月16日に申し入れた3点（【民意を問う前提条件】【民意を問う方法】【広域連合は正義に基づく行動を】）の本質的問題の解決こそ、「飯森建設の可否」を白馬住民に問う住民アンケートの前提条件と考えています。

少なくとも問題点が解決するまでアンケートの実施は凍結すべきであり、前提条件が満たされないアンケートは中止すべきです。

なお、12月16日提出の私どもの申し入れ（要望）に対して、一日も早い回答をお願いします。

### 2. 新たに浮上した本質的問題点

その後新たに、下記のような本質的問題点が浮上したことを指摘しなければなりません。私どもは、これらの問題点の解決もまた、住民アンケートの前提条件と考えます。広域連合の誠意ある回答と、実現に向けた努力を要望します。

少なくとも問題点が解決するまでアンケートの実施は凍結すべきであり、前提条件が満たされないアンケートは中止すべきです。

### 記

1) 「ゴミ処理施設を考える名鉄の会」へ、きちんと回答してください。

2 巡目の説明会終了後の7月に、「ゴミ処理施設を考える名鉄の会」が提出した公開質問状に、いまだに回答がありません。アンケートを云々する前に、住民の疑問にきちんと答えることは、行政の最低限の責任です。

**2) まず、「実施要綱」を全戸に配布してください。**

意見募集という、この重要な問いかけをなぜ全村に広く広報しないのか、その真意を測りかねています。アンケートの設問案を含む「実施要綱」を、区長を通しての配布と新聞折込を併用して、積極的な“情報公開”に努めるべきです。

また、区に加入していない住民への配慮も不可欠です。

**3) 周知徹底したあと、再度パブリックコメントを実施してください。**

平成16年12月の基本計画の時は、12月20日から1月17日と約1ヶ月だったものが、今回は12月18日から24日までの1週間と異常に短いのは大きな問題です。しかも、その1週間には週末と祭日が挟まり、正味4日しか利用できません。これではいかにもおざなりで、広域連合が「形式主義」の責めを負うことは避けられないでしょう。余裕を持ったパブリックコメントを再度実施してください。

**4) まず、別立てで周辺住民の民意の把握を行なって下さい。**

今まで何度も、「周辺住民の同意を得てから進める」と発言していましたが、現在までどこの地区から同意を得られたのでしょうか。

一番近い名鉄地域からの同意を得ていますか？お膝元の飯森区から同意を得ていますか？周辺・近隣区から同意を得ていますか？

住民説明会での、連合長・白馬村長の再三にわたる発言は偽りだったのですか？

全村的なアンケートを行なう前に、まず、別立てで周辺住民の意向の把握に努め、その結果を明示して全村的なアンケートに進むのが望ましい手順と私どもは考えます。

\*回答は急がせて申し訳ありませんが、12月29日までに懇談会を設定してその場で回答するか、文書で回答して下さい。

以上